平成30年度(2018年度)モニタリングシート

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	計画通りに人員配置されているか（ポスト数）	課長1（兼務） 主査1 主任1 管理運営9(内臨時職員6)　舞台3 ①管理運営　常時3名 ②舞台状況に応じて配置	C	主任職が1名減及び管理運営職が2名増となっている。早期に補充を検討されたい。	課長1（兼務）　主査1　管理運営11(嘱託員4、臨時職員7)　舞台3（嘱託員3） ①常時3～4名配置。業務に支障のないよう催し物の内容や抽選日、チケット発売日等は、人数を増やした。 ②催し物の内容により1～3名配置。	C	主任職が1名減、管理運営職が2名増となっており、業務体制は整ってはいるが、減員となっている主任職について、早期に補充を検討されたい。	課長1（兼務）　主査1　管理運営12(嘱託員4、臨時職員8)　舞台3（嘱託員3） ①常時3～4名配置。業務に支障のないよう催し物の内容や抽選日、チケット発売日等は、人数を増やした。 ②催し物の内容により1～3名配置。	C	主任職が1名減、管理運営職が3名増となっており、業務体制は整ってはいるが、減員となっている主任職について、早期に補充を検討されたい。	課長1（兼務）　主査1　管理運営12(嘱託員4、臨時職員8)　舞台3（嘱託員3） ①常時3～4名配置。業務に支障のないよう催し物の内容や抽選日、チケット発売日等は、人数を増やした。 ②催し物の内容により1～3名配置。	C	**主任職が1名減、管理運営職が3名増となっており、業務体制は整ってはいるが、減員となっている主任職について、早期に補充を検討されたい。**	課長1（兼務）　主査1　管理運営12(嘱託員4、臨時職員8)　舞台3（嘱託員3） ①常時3～4名配置。業務に支障のないよう催し物の内容や抽選日、チケット発売日等は、人数を増やした。 ②催し物の内容により1～3名配置。
		計画通りに有資格者を配置しているか(人数)	①防火防災管理者（1） ②上級救命技能認定者（1） ③職長・安全衛生責任者教育修了者（1） ④自衛消防技術認定（3） ⑤サービス介助士2級（5） ⑥安全衛生推進者（3） ⑦舞台照明中央講座1級（1）	C	防火防災管理者1名及び自衛消防技術認定者が2名。人事異動に伴い減員となっている。早期に補充または資格取得を検討されたい。	①0名　　※人事異動に伴う減　7月資格取得予定 ②1名配置 ③2名配置 ④1名配置　※人事異動に伴う減　早期に資格取得する ⑤7名配置 ⑥5名配置 ⑦2名配置	C	自衛消防技術認定者が人事異動に伴い2名減となっている。早期に補充、または資格取得を検討されたい。	①1名配置 ②1名配置 ③2名配置 ④1名配置　※人事異動に伴う減　早期に資格取得する ⑤7名配置 ⑥6名配置 ⑦2名配置	B	自衛消防技術認定者については、1月に確実に資格取得できるよう取り組まれたい。	①1名配置 ②1名配置 ③2名配置 ④1名配置※人事異動に伴う減　1月に資格取得予定 ⑤7名配置 ⑥6名配置 ⑦2名配置	A	**有資格者22人/15人 ＊100=140%**	①1名配置 ②1名配置 ③2名配置 ④3名配置 ⑤7名配置 ⑥6名配置 ⑦2名配置
		ISO9001(品質マネジメントシステム)内部審査の実施（年1回）		－		第一四半期での実施なし	－		第二四半期での実施なし	B		10/24に内部審査実施 指定管理申請に係る事項などを確認	B		【年間計】 1回 計画どおり実施(10月)した。
		ISO9001(品質マネジメントシステム)認証継続に向けた研修参加（未受講者がいる場合、必要に応じて）		B		入門編の研修に2名が参加した。(4月）	B		内部監査員研修に2名が参加した。(9月）	－		第三四半期での実施なし	B		内部監査員研修(4月・9月）に計4名参加した
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用した。
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にした。
			利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	B		適切に行なっている。	B		適切に行なっている。	B		適切に行なっている。	B		適切に行った。
		収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例：事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B		利用料金収入　　予算比　24.2% 適正に執行しており、市に毎月報告している。	B		利用料金収入　　予算比　47% 適正に執行しており、市に毎月報告している。	B		利用料金収入　　予算比　73.9% 適正に執行しており、市に毎月報告している	B		利用料金収入　予算比　98.2% 適正に管理し、市に毎月報告した
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書（人員配置計画）・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B		新人研修を行うとともに、舞台スタッフの技術向上のための研修（2回）、避難訓練コンサート（1回）に参加した。	B		新人研修を行うとともに、舞台スタッフの技術向上のための研修（1回）、防火防災管理者講習に参加した。	B		新人研修を行うとともに、舞台スタッフの技術向上のための研修および視察（1回）、クレーム研修に参加した。	B		適切な人員配置を行い、新人研修を実施したほか、救急救命講習に参加した。また、施設管理・舞台研修や防災研修など、利用者が快適で安心安全に利用できるよう学んだ。
			給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	B		適切に行なっている。	B		適切に行なっている。	B		適切に行なっている。	B		適切に行った。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B		。経営状況は健全である	B		経営状況は健全である。	B		経営状況は健全である。	B		経営状態は健全であった。
			業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B		業務の一括委託を行っていない。	B		業務の一括委託を行っていない。	B		業務の一括委託を行っていない。	B		業務の一括委託を行わなかった。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	計画どおりに設備・備品点検が行われているか(回数)	設備点検（定期点検）回数42回／年 ・舞台設備7回 　舞台機構3回(6・10・2月）、音響設備1回(9月)、照明設備1回(7月)、 　映写設備1回(12月)、ロールバックチェア1回(7月) ・電動シャッター1回(2月) ・電気設備12回(毎月) ・空調設備10回(5月・11月) ・冷水器12回(毎月) 備品点検　ピアノ3台各1回(2月)	－		13回 年間計画のとおり実施した。 舞台設備 1回 電気設備 3回、空調設備6回、冷水器 3回	－		9回 年間計画のとおり実施した。 音響設備 1回、照明設備 1回 ﾛｰﾙﾊﾞｯｸﾁｪｱ 1回 電気設備3回、冷水器3回 【4～9月計】22回 舞台設備 1回、音響設備 1回、照明設備 1回 ﾛｰﾙﾊﾞｯｸﾁｪｱ 1回 電気設備 6回、空調設備 6回、冷水器 6回	－		12回 年間計画のとおり実施した。 舞台設備 1回、映写設備 1回、 電気設備 3回、空調設備 4回、冷水器 3回 【4～12月計】34回 舞台設備 2回、音響設備 1回、 照明設備 1回、映写設備 1回、 ﾛｰﾙﾊﾞｯｸﾁｪｱ 1回 電気設備 9回、空調設備9回、冷水器 9回	B		9回 年間計画のとおり実施した。 舞台設備1回、電気設備3回、冷水器3回 電動シャッター　1回 備品点検　ピアノ3台各1回 【年間計】 43回 舞台設備7回（舞台機構 3回、音響設備 1回、 　　照明設備 1回、映写設備 1回、 　　ﾛｰﾙﾊﾞｯｸﾁｪｱ 1回、） 電動シャッター　1回 備品点検　ピアノ3台各1回 電気設備 12回、空調設備10回、冷水器12回
		施設の利用方法の変更または新たなサービス、その他のお知らせをホームページ掲載回数	8回/年	－		第一四半期での実施なし	－		3回 ・臨時職員募集のお知らせ（7月） ・休館日のお知らせ（8月） ・台風に伴う閉館のお知らせ（9月） 【4～9月計】 3回	－		2回 年末年始休業のお知らせ（11月） 1/4抽選会　セミナー室は日祝のみ抽選（12月） 【4～12月計】 5回	B		3回 ・ギャラリーホール目的外利用の3か月前受付変更（1月） ・2月抽選会変更（1月） ・休館日のお知らせ（2月） 計　8回
		「情報紙ラララ」会館情報及び実施事業の記事掲載回数	3回/年	－		第一四半期での実施なし	－		1回 ・休館日のお知らせ(8月） 【4～9月計】 1回	－		1回 年末年始休業のお知らせ（12月） 【4～12月計】 2回	B	**大学コンソーシアム八王子との協力事業の掲載を検討されたい。**	1回 ・休館日のお知らせ（2月） 【年間計】 3回掲載
		業務関連法令調査による法令一覧の更新（年1回）	1回/年	B		1回 ISO9001運営マニュアルに基づき、法令等調査を実施した。(5月）	B		【4～9月計】 1回	B		【4～12月計】 1回	B		【4～3月計】 1回
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B		規程の通り開館した。	B		規程の通り開館した。	B		規程の通り開館した。	B		規程の通り開館した。
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか（※該当の場合） 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B		大学・学生の利用の場合は、「利用料減額・免除申請書」を提出、また、学生については、登録の際、名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体については「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。	B		大学・学生の利用の場合は、「利用料減額・免除申請書」を提出、また、学生については、登録の際、名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体については「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。	B		大学・学生の利用の場合は、「利用料減額・免除申請書」を提出、また、学生については、登録の際、名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体については「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。	B	**大学・学生利用団体について区分(ゼミナール、サークル等)を整理し、大学・学生利用率の向上に向けた調査・分析に役立てられたい。**	大学・学生の利用の場合は、「利用料減額・免除申請書」を提出、また、学生については、登録の際、名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体については「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をした。
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B		ファイル基準表をもとに書類の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに書類の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに書類の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに書類の保存・廃棄を行った。
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例：事業報告書・実地調査】	B		修繕0件 イベントホールについては、利用前の点検項目をもとに舞台、音響、照明について点検を行っている。 保全計画の全体工程を変更し提出した。	B		修繕3件 ・イベントホール ミラーボール修繕 ・事務室電話機修繕 ・イベントホール扉ドアストッパー修繕 【4～9月計】 3件 イベントホールについては、利用前の点検項目をもとに舞台、音響、照明について点検を行っている。	B		修繕7件【4～12月計　10件】 ・事務室電話機増設修繕 ・通路照明設備修繕 ・1ｔセミナー室ﾌｲﾔﾚｽﾏｲｸ修繕 ・ｲﾍﾞﾝﾄﾎｰﾙ音響ｺﾝｾﾝﾄ盤修繕 ・無線機増設修繕 ・ｲﾍﾞﾝﾄﾎｰﾙ映像ｹｰﾌﾞﾙ修繕 ・ｲﾍﾞﾝﾄﾎｰﾙﾛｰﾙﾊｯｸﾁｪｱ修繕 イベントホールについては、利用前の点検項目をもとに舞台、音響、照明について点検を行っている。	B	**LED化がなされていない部分について、利用者のニーズや費用対効果を総合的に考慮したうえで、移行を検討されたい。**	修繕10件【4～3月計　20件】 ・ギャラリーホールパネル塗装及び床修繕 ・イベントホール舞台上手監視カメラ交換修繕 ・イベントホール調光卓メイン制御基板交換修繕 ・第1セミナー室照明修繕 ・第3・第4セミナー室スライディングウォール修繕 ・イベントホールスポットライト修繕 ・イベントホール映像機器交換修繕 ・ホームページGoogleストリートビュー修繕 ・和室その他照明器具交換修繕 ・イベントホール非球面平凸レンズライト修繕 イベントホールについては、利用前の点検項目をもとに舞台、音響、照明について点検を行った。 利用者に対する対応に差が出ないよう月1回ミーティングで情報共有を図った。
			備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例：備品台帳・実地調査】	B		利用後に各備品の数と状態を確認している。	B		利用後に各備品の数と状態を確認している。 備品台帳、消耗什器備品台帳と各備品との突合を行った。（年1回9月実施）。	B		利用後に各備品の数と状態を確認している。	B		利用後に各備品の数と状態を確認した。 （備品台帳との突合　9月）

平成30年度(2018年度)モニタリングシート

視点	評価項目			6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者数　前年度以上	平成29年度　182,308名	－		33,836人 前年度同月比5,254人減	－	対前年同月比累計▲16564人は多い。 至急、原因追究及び、その対策を検討されたい。	43300人 前年度同月比11,310人減 【4～9月計】 77,136人 前年度同月比16,564人減	－	昨年度は10月までの市制100周年に関連する利用が多かったとのこととあるが、引き続き利用者の増加に向けて取り組まれたい。	48,281人 前年度同月比195人増 【4～12月計】 125,417人 前年度同月比16,369人減	B	**162,921人(H30)÷182,308人(H29)=89.3%** **162,921(H30)÷174,528人(H28)=93%** **利用者数減少の原因について調査・分析し、利用者数増加に向けて取り組まれたい。**	37,190人 前年度同月比3,332人減 年間計 162,921人 前年度比19,387人減
	定量的	利用者満足度　95.0%以上		－		第一四半期での実施なし	－		9月より調査開始	－		9～11月に調査 総合満足度　99.4%	A	**昨年度の数値：98.2%** **高い水準を維持していることを評価する。**	総合的な満足度99.4% お客様の声対応システムにより95%以上を来期も維持していく。 利用案内等を見直しをしている中で、ギャラリーホールの利用の手引きについて完成したため、配布を開始した。 館内に掲示していた11階・12階の本日の催し物一覧表について、利用者が見やすく、利用者以外にも利用啓発になるようデジタルサイネージに変更した。
	定量的	受付・事務スタッフのサービス介助士取得率 【100%】 （期中の新規採用者　休職中の者 臨時職員等は除く）		－		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1＋嘱託3/3＝4/4（100%）	－		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1＋嘱託3/3＝4/4（100%）	－		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1＋嘱託3/3＝4/4（100%）	B		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1＋嘱託3/3＝4/4（100%）
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例：相談、苦情をまとめた整理帳簿】	－		お客様の声対応システムにより対応している。 要望・提案及び苦情　1件	B		お客様の声対応システムにより対応している。 要望・提案及び苦情　1件 【4～9月計】1件	－		お客様の声対応システムにより対応している。 要望・提案及び苦情　0件 【4～12月計】1件	A	**件数の少なさから、適切な対応がとられていることを評価する。**	お客様の声対応システムにより対応した。 要望・提案及び苦情　2件 【年間計】　3件
施設の効率的な管理・運営が行われているか、経費の節減がられているか	定量的	管理経費(人件費を除く)　年度収支計画以下	99,236千円（収支計画書）	－		—	－			－			B		決算額　98,089,898円
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	指定申請提案書「利用者の誘致・拡大に関する方策」に掲げた日数利用率目標値・・・事業計画書における単年度目標値達成	イベントホール　100%	－		100%	－		100% 【4～9月計】100%	－		100% 【4～12月計】 100%	A	**100%利用されていることを評価する。**	100% 【年間計】 100%
			ギャラリーホール 70%	－		68.7%	－		66.9% 【4～9月計】67.8%	－		73.0% 【4～12月計】 69.5%	B	**利用率向上策を検討されたい。**	69.5% 【年間計】69.3%
			セミナー室他　95%	－		94.3%	－		93.2% 【4～9月計】94.1%	－		95.8% 【4～12月計】 94.7%	B		94.2% 【年間計】94.5%
		大学・学生の利用件数	300件/年	－	大学のｻｰｸﾙ等へﾁﾗｼを発送するなどの努力はしているが、年間300件の目標に対し、6月末41件は少ない。 その他のｱﾌﾟﾛｰﾁも検討されたい。	41件（大学2件、学生39件）	－	大学のｻｰｸﾙ等へﾁﾗｼを発送するなどの努力は引き続き行っているが、年間300件の目標に対し、9月末105件は依然として少ない。 その他のｱﾌﾟﾛｰﾁを早急に検討されたい。	64件（大学7件、学生57件） 【4～9月計】 105件（大学9件、学生96件）	－	学生発表会でのﾁﾗｼ配布など対策を取っていることは評価できる。年間目標の300件に対し、第3四半期となる12月末時点で174件(58%)である。年間目標の達成に向けてSNS等を活用した発信に努め学生等の利用促進を図られたい。	69件（大学13件、学生56件） 【4～12月計】 174件（大学22件、学生152件）	C	**実績213件÷目標300件=71%** **大学・学生の利用実態やニーズ等について調査分析し、利用増に向けたPRやアプローチ等について対策を講じられたい。**	39件（大学24件、学生15件） 【年間計】 213件（大学46件、学生167件）
		学園都市づくり事業への協力	大学コンソーシアムハ王子の事業（学生天国、夏休みこどもいちょう塾、FD・SDフォーラム、学生発表会）の際の受付等業務サポート（4回/年）	－		1回 下記の事業について業務のサポートを行った。 ・学生天国(5月)	－		2回 下記の事業について業務のサポートを行った。 ・夏休みこどもいちょう塾(7月) ・FDSDフォーラム(8月) 【4～9月計】 3回	－		1回 下記の事業について業務のサポートを行った。 ・学生発表会(12月) 【4～12月計】 4回	A	**設置目的の「学園都市づくり」に寄与する取り組み・積極的な姿勢を評価する。**	1回 下記の事業について業務のサポートを行った。 ・八王子学生CMコンテスト(1月) 【年間計】5回
			八王子学園都市大学の事業協力（必要に応じ随時）	B		下記の対応を行った。 ・講座資料のコピー ・いちょう塾講座の申込みの受付及びキャンセルの受付 ・登録証の作成、更新業務 ・講師の方への駐車券のお渡し ・講師の方への講師室の鍵の授受	B		下記の対応を行った。 ・講座資料のコピー ・いちょう塾講座の申込みの受付及びキャンセルの受付 ・登録証の作成、更新業務 ・講師の方への駐車券のお渡し ・講師の方への講師室の鍵の授受	B		下記の対応を行った。 ・講座資料のコピー ・いちょう塾講座の申込みの受付及びキャンセルの受付 ・登録証の作成、更新業務 ・講師の方への駐車券のお渡し ・講師の方への講師室の鍵の授受	A	**学園都市大学の運営に対して、積極的に協力している姿勢を評価する。**	いちょう塾担当者が不在の際など下記の対応を行った。 ・講座資料のコピー ・いちょう塾講座の申込みの受付及びキャンセルの受付 ・登録証の作成、更新業務 ・講師の方への駐車券のお渡し ・講師の方への講師室の鍵の授受
	定性的	本市の学園都市づくりに即した管理運営がなされていること	「はちおうじ学園都市ビジョン」に基づく、本市の学園都市づくりに即した管理運営が行われているか。 【ヒアリング等で確認】	A		学園都市づくりを促進するため、学生・大学利用のための減免制度、及び優先予約を継続、また学園都市センターのPRチラシの送付などにより利用を促進している。	A		学園都市づくりを促進するため、学生・大学利用のための減免制度、及び優先予約を継続、また学園都市センターのPRチラシの送付などにより利用を促進している。	A		学園都市づくりを促進するため、学生・大学利用のための減免制度、及び優先予約を継続、また学園都市センターのPRチラシの送付などにより利用を促進している。 学生発表会時で学生向けの新たなチラシを配布した。	A		学園都市づくりを促進するため、学生・大学利用のための減免制度、及び優先予約を継続、また学園都市センターのPRチラシの送付などにより利用を促進している。 学生CMコンテスト時に学生向けのチラシを配布した。
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステムガイドライン」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	B		節電・節水への協力のポスターを館内に掲示した。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷による省資源化に努めた。	B		節電・節水への協力のポスターを館内に掲示した。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷による省資源化に努めた。	B		節電・節水への協力のポスターを館内に掲示した。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷による省資源化に努めた。	B		節電・節水への協力のポスターを館内に掲示を行った。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷による省資源化に努めた。
			エネルギーの使用削減施策は実施しているか【ヒアリング・資料等で確認】	B		照明のLED化や節電を実施したが、電気使用量が前年度同月比618kwh増となった。	B		電気使用量が照明のLED化や節電により、前年度同月比2,303kwh減となった。 【4～9月】1,685kwh減	B		電気使用量が照明のLED化や節電により、前年度同月比779kwh減となった。 【4～12月】2,464kwh減	B		電気使用量が照明のLED化や節電により、前年度同月比2,636kwh減となった。 【年間計】5,100kwh減

平成30年度(2018年度)モニタリングシート

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等) 参加数	1回/年	－		第一四半期での実施なし	－		第二四半期での実施なし	B		1回 ・情報セキュリティ研修(11月)に2名参加した。	B		第四四半期での実施なし 【年間計】1回
	定量的	防災・消防訓練　実施(参加)回数	消防・避難訓練　2回/年	B		2回 ・八王子スクエアビル全体の消防・避難訓練(5月)に5名が参加した。 ・目黒のめぐろパーシモンホールの避難訓練コンサートに1名が参加した。	B		第二四半期での実施なし 【4～9月計】2回	B		1回 ・八王子スクエアビル全体の消防・避難訓練(11月)に4名が参加した。 【4～12月計】3回	B	**今後、訓練の自主実施も検討されたい。**	第四四半期での実施なし 【年間計】3回
	定量的	AED資格取得率(舞台含む。また期中の新規採用者及び休職中の者等は除く。)	【100%】	B		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1+嘱託:窓3・舞台2/嘱託:窓3・舞台2＋臨職3/3＝9/9(100%)	B		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1 ＋ 嘱託:窓3・舞台2/嘱託:窓3・舞台2 ＋臨職3/3 ＝ 9/9(100%)	B		ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1 ＋ 嘱託:窓3・舞台3/嘱託:窓3・舞台3 ＋臨職5/5 ＝ 12/12(100%)	A	**全職員が取得していることを評価する。**	ﾌﾟﾛﾊﾟｰ1/1+嘱託:窓1・舞台2/嘱託:窓1・舞台2＋臨職5/5＝9/9(100%)
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B		「情報セキュリティ実施手順」のとおり対応している。	B		「情報セキュリティ実施手順」のとおり対応している。	B		「情報セキュリティ実施手順」のとおり対応している。	B		「情報セキュリティ実施手順」のとおり対応した。
	定性的	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例:保険証券】	B		施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合の見舞金等の対応がある)加入している。	B		施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合の見舞金等の対応がある)加入している。	B		施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合の見舞金等の対応がある)加入している。	B		施設・受託物賠償責任保険に加入した。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合の見舞金等の対応がある)加入した。
	定性的	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B		緊急連絡網の作成 地震発生時対応マニュアルや八王子スクエアビル地震対応マニュアルをもとに行動できるよう毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。	B		緊急連絡網の作成 地震発生時対応マニュアルや八王子スクエアビル地震対応マニュアルをもとに行動できるよう毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 事故報告1件 【4～9月】1件	B		緊急連絡網の作成 地震発生時対応マニュアルや八王子スクエアビル地震対応マニュアルをもとに行動できるよう毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 事故報告　0件 【4～12月】1件	B	**定期的な確認が行われていることを評価する。**	緊急連絡網の作成 地震発生時対応マニュアルや八王子スクエアビル地震対応マニュアルをもとに行動できるよう毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認した。 事故報告　1件 【年間計】　2件

期末総合評価	**B**
所管課コメント	【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 計画人数を超えた有資格者が配置できており、職員の資格取得に向けた積極的な姿勢を評価する。 業務体制について、減員となっている主任職の補充を早期に検討されたい。 【施設の運営において、公共性、公平性、公正性が図られているか】 施設内照明についてLEDへの移行がおおよそは完了している。イベントホールなどの一部施設についても検討されたい。 【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者対応が適切にとられていることを評価する。利用者数について(昨年は100周年事業が行われていたことから)ー昨年と比較しても減員がみられるため、原因究明及び対応を検討されたい。 【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか】 設置目的である「学園都市づくり」に寄与する取り組みを評価する。大学・学生の利用件数について、改善の余地がみられるため、利用実績より減免・免除を受けている団体について分析(団体の種類、学園都市センターの利用方法)を行い、改善策を検討されたい。 【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 緊急対応等危機管理体制が十分にとられていることを評価する。H29年度モニタリングコメントにある防災・消防訓練の自主実施について検討されたい。 施設の運営について、大学・学生の利用件数を伸ばしていくための策を検討されたい。 具体的には、利用料割引の対象となる団体について分析すると共に、学園都市センターについての情報発信をより積極的に行っていくことを検討されたい。 全般的には、利用者満足98.2%という数値からわかるように、"十分な危機管理体制"や"適切な利用者対応"が利用者の安全・安心に資する管理に繋がっていることを評価する。 また、本市の学園都市づくりに資する施設として、引き続き適切な運営に努められたい。